

酪農家の皆さまへ

Jミルクでは乳業者から財源を拠出いただき、「力強く信頼される持続可能な酪農」をテーマに、生産基盤強化の取り組みに加えて、担い手の確保・育成のための研修や理解醸成活動への支援事業を実施しています。2021年度からは後継者の早期継承支援として、家族経営の牧場に対して「家族経営協定の推進」「早期経営参画への支援」事業をスタートしました。地域の家族経営の存続と基盤強化の推進につなげていただくため、ぜひ事業を積極的にご活用ください。

※申請受付締切：2021年6月末（所属JAなどを通じて申請できます）



酪農生産基盤強化総合対策事業（酪農乳業産業基盤強化特別対策事業）「牛から人へ」をテーマに、担い手の確保・育成を積極的に推進。また、2021年度より円滑な経営継承に対してサポートを実施。

事業名	項目	内容や対象、主な要件など	助成上限額など（税抜）
強化生産基盤 支援事業	1.生産基盤の改善・指導	▶酪農家や指導員等を対象にした研修会や会議の開催 ▶専門家派遣・地域関係者と連携した経営改善の模範となる取り組み ▶酪農経営や技術改善のための啓発用資材作成 など	▶地域の課題や指導・支援体制を踏まえ、自ら企画・推進 ▶作成資材はJミルクHP等で共有 (1資材当たり100万円以内)
	2.乳用牛地域育成支援対策の推進		▶育成牛増頭につき1,500円/頭・月(2,800頭以内) ▶都府県は500円、設備増強・新設の場合は1,000円を加算
	3.乳用牛供用年数延長支援対策の推進【自由提案枠】 new		北海道の事業実施主体は1/2以内、都府県は3/4以内 ※乳業団体・乳業者による「事業審査会」で採択を決定
酪農持続可能性向上支援事業	ア.酪農後継者や新規就農者などが、国内外の酪農場での研修による自己研鑽を行うことへの支援	【酪農ステップアップ支援】新規就農・就業（予定）者向け ①30歳以下の酪農後継者・後継予定者 ②40歳以下の新規就農者、新規就農予定・希望者※5年以内 ③研修終了後、3年以内に新たに酪農業・酪農ヘルパーに就業して3年以上従事	通算6か月以上の研修に対して ▶国内の場合は一人当たり30万円以内 ▶海外の場合は一人当たり90～120万円以内 (7か月以上の場合は1月ごとに5万円加算し、上限120万円)
		【酪農チャレンジ支援】新規就農・就業検討者向け ①酪農業等への就業について検討している者 ②原則として40歳以下	通算6か月程度の研修に対して ▶国内の場合は一人当たり10万円以内 ▶海外の場合は一人当たり20万円以内
	イ.酪農家への受入支援	酪農後継者・新規就農希望者、酪農に興味のある学生などの受け入れを行う酪農家	3,000円/人・日以内 1戸あたり30万円以内
	ウ.イベント等への出展・開催	例)▶農業求人イベントへの出展 ▶婚活などの後継者確保イベントの開催 など	1事業実施主体あたり30万円以内 県内全域を管轄する事業実施主体については50万円以内
	エ.早期経営参画への支援 new	【家族経営協定の推進】 ▶家族経営協定を新たに締結する牧場 ▶家族経営協定を締結している牧場 (状況を確認の上、必要に応じて改善計画を策定) ※第三者の立会いが必要	1戸あたり5万円以内
		【早期経営参画への支援】 対象期間は2020年4月1日～2022年3月31日 家族労働力を基幹とし、経産牛がおよそ500頭未満で、次のいずれかを満たす後継者（経営移譲予定者）に経営移譲した牧場 ①39歳以下の後継者 ②第三者継承予定者 ③酪農に従事して概ね10年以内の後継予定者 ④40歳から49歳の後継者	▶①～③は1戸あたり50万円以内 ▶④は1戸あたり20万円以内
2.酪農生産への理解醸成活動	例)▶生産者と乳業者が連携して行う学校への出前授業など	1事業実施主体あたり30万円以内 県内全域を管轄する事業実施主体については50万円以内	
3.酪農の持続可能性の向上等を図ることを目的とした独自の取り組み【自由提案枠】	例)▶酪農生産の持続可能性に関する定量的調査 ▶優良事例の創出・普及 ▶乳業者・行政等と連携して行う社会貢献活動 ▶酪農場における環境美化活動 など	※乳業団体・乳業者による「事業審査会」で採択を決定	

2020年度の活用事例や実績

指導者向け研修会の開催やコンサルタントによる経営指導、乳質改善のための現地指導など、5団体に対して助成

北海道で約4,900頭、都府県で約300頭の育成牛増頭

北海道22名、都府県10名に対して支援

北海道10牧場、都府県20牧場に対して支援

2団体に対して助成

乳牛とのふれあい体験や量販店でのPR活動、出前教室用資材作成など、4団体に対して助成

「農業高校生に対する酪農への意識調査」が事業審査会で採択され、現在実施中

2020年度「酪農ステップアップ支援」活用者からの声

北海道・新規就農者
壁にぶつかることもあるが、それ以上にやりがいや喜びを感じることが多く、就農して良かった。今後は一層の知識習得を目指して繁殖に力を入れ、規模拡大を目指したい。

北海道・新規就農者
勉強したことを活かし、牛を大切にできる酪農家を目指して頑張りたい。

北海道・新規就農者
知識習得やスキル向上とともに、「牛も人も健康」に重点を置いた無理のない経営を構築していきたい。

北海道・酪農従事者
酪農ヘルパーを目指しており、技術の習得と地域の信頼を得ていきたい。

都府県・新規就農者（第三者継承）
経営が安定した後は、自らの経験を活かして就農希望者を受け入れ、勉強の場を提供していきたい。

都府県・酪農後継者
実家とは違う酪農作業のやり方を勉強したことで新たな技術や知識が身につく。将来の礎となった。

都府県・新規就農者
研修先の牧場で学んだ自家育成の管理方法をもとに、牛をよく観察して育成管理の方法を確立していきたい。

都府県・新規就農者（第三者継承）
近隣の酪農家との交流が増えて距離が縮まり、様々な経営知識を学ぶことが出来た。

事業の詳細はコチラから。
実施要領や申請様式、Q&Aなどを掲載しています。

酪農持続可能性向上支援事業については、酪農家ネットワーク組織（農協の酪農部会や地域の活動グループなど）からの申請も可能です。 ※各事業とも、webの活用など、オンラインでの取り組みも推奨します。

